

果樹類の フジコナカイガラムシ 防除に!

- 性フェロモンで対象害虫の
交尾を阻害することで発生を抑制
- 有機JASに使用できます

交信かく乱用性フェロモン剤

フジコナコン[®]

ジャパミリルア剤



フジコナコン取付け例



フジコナカイガラムシ雌成虫

交信かく乱用性フェロモン剤の
詳しい説明はWEBで



交信かく乱用性フェロモン剤 フジコナコン®

●包装形態: 50本/袋、100袋/箱
●有効成分: 5-メチル-2-(1-メチルエチリデン)-4-ヘキセン-1-イル=ブチレート 93.8%
安定剤等 6.2%
安全性
●人畜毒性: 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
●魚毒: この登録に係る使用方法では該当がない

特長

- 性フェロモン剤の有効成分は微生物等により容易に分解されるため、環境にやさしい防除剤です。
- 性フェロモン剤は、殺虫剤と比べても一般的に抵抗性がつきにくいとされています。
- 作物への残留も心配なく、輸出用作物にも使用できます。
- 殺虫剤の散布回数の削減が期待できます。

上手な使い方

処理量

通常の場合、本剤は10a当たり50~100本とし、圃場の立地条件(傾斜)、周囲の状況や風向き等を考慮に入れて、8割程度を圃場全体にほぼ均等に設置してください。残りの2割程度を圃場内周辺に処理すると効果的です。

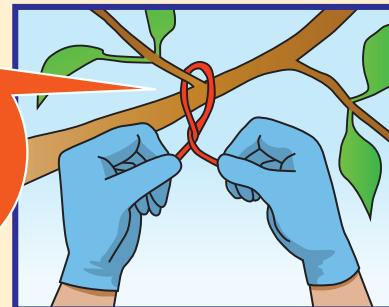
処理位置

目通りの高さ(約150cm程度)になるべく圃場全体が均等になるように取り付けてください。但し、樹高が不均一の場合はなるべく高い位置に設置してください。

取り付け方法

枝に軽くひとひねりして固定してください。

枝にかけて、
ひとひねりすれば
取り付け完了。



フジコナコンの登録内容

使用期限: 2年

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用時期	使用量	使用方法
果樹類	交尾阻害	フジコナカイガラムシ	成虫発生初期から終期	50~100本/10a (3.2g/50本製剤)	ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け、または挟み込み設置する。

■使用上の注意事項

- 本剤は、フジコナカイガラムシ成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる次世代の密度低下を目的としていますので、対象害虫の成虫発生初期から比較的広範囲な地帯で使用することが望ましいです。
- 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用することが望ましいです。
- 本剤は樹木等に巻き付け、対象地帯に均一になるよう設置してください。また、標準的な使用量は10アール当たり50~100本ですが、立地条件や風向、傾斜等により効果が振れる場合がありますので、諸条件から判断して、必要な場合は

合は使用量の範囲内で、特に周辺部に多めに設置することが望ましいです。

- 急傾斜地、風の強い地帯等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では使用しないでください。
- 製剤を直接ふれた手で収穫物等を触ると臭いが移る恐れがあるので手を洗ってください。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散しますので、密封したまま冷暗所(5°C以下)に保管し、使用直前に開封して使い切ってください。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法等誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、

病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■安全使用上の注意事項

使用に際しては不浸透性手袋を着用してください。危険物第四類第三石油類に属するので火気には十分注意してください。

■貯蔵上の注意事項

火気を避け、直射日光が当らない冷暗所(5°C以下)に密封して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2025年12月現在の知見に基づいて作成されています。

製造・発売元

ShinEtsu 信越化学工業株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1
TEL.03-6812-2442